事例No.	1547
公表年度	R3
団体の属性	都道府県
団体名	三重県

事例区分	DX

タグ	・人材確保・育成 ・AI ・RPA

事例種類	自治体DX推進

事例内容・タイトル

フィールドワークを通じたスマート人材育成

出典

自治体DX推進手順書参考事例集

事例：フィールドワークを通じたスマート人材育成【三重県】

Point

- 「DX理解」、「データ利活用」など基礎的な５つのテーマについて座学で習得
- 農家などの現場をフィールドとしたプロジェクトに参画し、学んだノウハウを実践

概要

○ 令和２年度から庁内公募の若手職員20名を対象に、デジタルを活用し社会課題の解決を進めることのできる職員（スマート人材）の育成に取り組む。

○ ＡＩやデータの利活用、プロジェクトマネジメントなどの座学の研修を踏まえ、市町（AI・RPAの導入）や県内事業者（尾鷲市・熊野市におけるスマート漁業）、生産者（津市におけるスマート農業）といった現場でのフィールドワークを行い、研修で学んだノウハウを実践に生かす。

○ 令和３年度は、前年度の課題などを踏まえ、プログラムの改善を予定。前年度参加職員の中から希望者をスペシャリストとして認定し、継続的に研修等で知識を磨きつつ、各担当業務で、行政のスマート改革を推進する。

研修（全５回）

- ＤＸ理解（スマート自治体、国の施策、三重県のDX）
- データ利活用研修（データ利活用の方向性、事例、分析法）
- ＡＩ（AIの活用事例、仕組み、導入と成果）
- ＤＸ推進企画（ツールサービス、企画立案、調査分析、計画）
- プロジェクトマネジメント（コストリスクマネジメント、進捗管理、評価）

フィールドワーク

尾鷲市・熊野市におけるスマート漁業

- ＩＣＴ、５Ｇ等の先端技術を活用することで、高齢化・後継者不足を克服し、高い生産性と持続可能性を両立させた次世代漁業を実現する。また、関連ビジネスも発展させ、漁村全体の再興を目指す。

津市におけるスマート農業

- ドローンによる圃場管理や、リモートセンシングによる栽培情報のデジタル化、データ分析を通じた栽培技術の継承等により、スマート農業を実現する。

市町事務へのＡＩ・ＲＰＡ導入プロジェクト

- 地方自治体の基幹的業務について、複数の市町が業務プロセスを比較して標準化を図るとともに、ＡＩやＲＰＡを導入することで飛躍的な効率化を図る事業に参画する。

※２０名を３チームに分けて実施

研修・フィールドワークの様子





【参考情報】 人口：181.4万人、 関連URL：https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000936225.pdf